

人的ミスではすまえない重大事態も

令和2年度に起きた、起こされた事件・事故は主なものでも以下の10件。それもほとんどが外部からの通報等により初めて気づく状態。役所の仕事はダブルチェック以上のチェック機能が働いているはず。コロナ禍とはいえ、5千人以上の職員が通常業務として働いているのです。

	報告日	事件・事故内容	担当部署
1	R2年5月15日	借地権料の支払い忘れ (相手側からの指摘で発覚約1千万円)	保育部 保育課
2	R2年6月17日	特別定額給付金の二重払い	給付金担当部 担当課
3	R2年7月31日	特定検診受診券に他人の記事記載	保健福祉政策部 国保・年金課
4	R2年8月5日	職員の通勤手当の不正受給 (懲戒処分)	総務部 人事課
5	R2年10月26日	国勢調査 回答確認表の紛失	政策経営部 統計調査担当課
6	R2年11月10日	予定価格の誤りによる入札中止	財務部 経理課
7	R2年11月11日	子育て世帯への臨時特別給付金 (送金ミス)	子ども・若者部 子ども育成推進課
8	R2年11月11日	区立保育園における不適切な保育	保育部 保育課
9	R2年12月4日	住まいサポートセンターでの 「受付簿コピー」の紛失	居住支援課 都市計画課
10	R3年2月3日	期限切れ個人番号の誤送付	マイナンバー カード交付担当課

保育の質が世田谷区の特長では？

■ともすると保健所だけが注目されがちですが、当然、通常業務も進行しています。しかし現在、世田谷区役所では多くの問題が生じています。上表参照■このほかにも、「特別定額給付金」の遅れ(23区最下位)もあります■これらの不祥事は福祉保健委員会以外(入札中止は除く)はペーパー連絡で、委員会に報告されていません■とにかく忙しいとのこと。推測するに、どうも保坂区長が保健所の仕事に首を突っ込んだあたり(世田谷モデル?)から区役所は落ち着きを無くしているようです■そして大きな事態が明るみに出ます。区立保育園での虐待です■

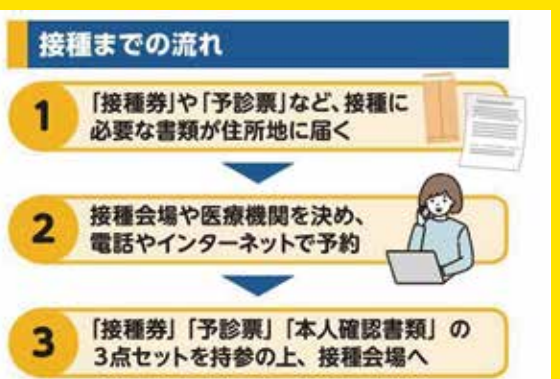
外傷の有無が虐待の基準？時代遅れ！

■そもそも「不適切な保育」とは何を意味するのか？■実は朝日新聞の記事には出ていないが、「心理的虐待」と断じたのは令和2年度から新設された区立児童相談所の判断が効いているのだ■それまで区立保育園では、あるいは保育課は、外傷の有無が虐待の判断基準と考えていたようである■区は今回の件について、当該保育園だけの問題ではない、ま

■新型コロナに限らず区役所の仕事は多岐に渡ります■区立保育園での事業も世田谷区が待機児童解消も含めて、もっとも力を注いできたはず■事件発覚の兆しは9月ごろ外部からの区長メールにありましたが、なぜかそれはスルーされ、(世田谷モデルで議会対応で多忙を極めていた頃)改めて保育課に直接情報が寄せられたことから、調査に入った次第■概要は上掲の朝日新聞の記事の通り■しかし、区はこの事実を率先して委員会に報告する考えがなかったことが2月25日の大庭の代表質問でその裏側が明らかになりました■結局、委員会の働きかけで報告事項となり公知の事実となりました■

た当該保育士だけの問題ではない、と謝罪した上で、(驚いたことに)世田谷区の全区立保育園での心理的虐待の可能性を認めているのである■確かに虐待の芽というのは、些細な「おふざけ」からエスカレートしていくのだろう■しかし私たちが考えなくてはいけないのは、幼児は“状態”を「言語化」できない、ということである■大人でも、相手が良か

新型コロナワクチン接種の情報



ワクチン接種が5月以降、高齢者から始まりますが、実際のところ、報道の通りに進行するかわかりません。基本的には左の「接種までの流れ」は変わりませ

んが時期とか接種場所は変わる可能性があります。正確な情報は区のHPあるいは区ワクチンツ



不適切な保育は心理的虐待！

保育園でおかしいと感じたらメールで(オモテ面上に記載)或いは、区役所の保育課へ！匿名性はまもられます。



区立保育園、虐待発生！

2021年2月16日朝日新聞

世田谷の保育園「不適切な保育」 区が心理的虐待認定

世田谷区の区立保育園で、保育士が園児の嫌がる不適切な行為を繰り返していた問題で、区は、発覚した行為のすべてが「心理的虐待にあたる」と認定した。区への取材でわかった。

区が認定した保育士の行為は、昼寝の時間に二つ折りにした敷布団を園児の上半身に落とす▽行動がゆつ

くりの園児に「まだ終わってなかったのか」と言いながら、頭の上に音がするくらい(の強さで)両手を振り下ろしてあてた▽食事の際、泣いた園児を隣の部屋に1人にした▽泣いていた園児を年齢より下のクラスに連れて行った▽トイレでいたずらをした園児に対して、おむつを使用していないのに「トイレが使えない

やつはおむつで寝かせるぞ」と言った▽昼寝の際、視界をふさぐように園児の顔にバスタオルをかぶせた――など9点。

区が昨年10月、情報提供を受けて調査を開始。当初は園児に外傷がないことなどから「不適切な保育」としていたが、専門家ら外部の有識者でつくる検討会での見解を踏まえ、心理的虐待に当たると判断した。区は、この保育園を含む区立保育園で人権研修を実施。年度内に改善策を取りまとめる予定。

(野田枝里子)

世田谷区立の認可保育園で、心理的虐待があったことは、保護者をはじめ保育課も大きなショックを受けています。それは、保育士と園児との信頼関係、或いはなついていたという安心感という土台さえあれば・・・あれくらいのことは、という油断でしょう。幼児の心は傷つくのです。ただし、「言語化」できないので、わからないだけです。区立認可保育園ではあらためて「子どもの人権」研修等が行われるとのこと。

あとかき & 最近の世田谷区政

■「面前 DV」という言葉がある■児童の眼前で保護者が配偶者に暴力を振るうこと。これは立派な虐待事例である■心理的虐待の典型とも言える。過去に世田谷区で有名演奏家が集団演奏の際、多くの児童生徒の前で手を挙げたことがあったが保坂区長は以下のように看過した「平手打ちの動作は確かにしたが、中学生はよけた。体罰イコール暴力事件とは違う。一歩手前のものだ」2017年9月12日朝日新聞から(私たちの会派は暴力を公認するのかと徹底的に批判したが)■現在ではどうであろう■区立保育園での心理的虐待は児童・生徒のレベルではない■保育園児は保育園に行きたくない、とか保育園が怖いという“意思表示”をしていたとも聞く■左にも書いたが、保育士と園児の間には、客観的な事実確認ができない。幼児はうまく「言語化」できないからだ■上の朝日新聞の記事にもあるように「頭の上に音がするくらい両手を振り下ろしてあてた」とは保育士側の「言語化」である。相手が喋れないことを逆手にとって、いかにも都合のよい「言語化」である(注意したいのはこれは当該保育士が話したことそのままではない! 保育課等が聴取して言語化したのである。つまり世田谷区の保育課側の言語化である)■そこをズバリ、「心理的虐待」と断じた区

立児童相談所は、区立の保育園(保育課)の目を覚めさせたと言っている■心理的な傷は見えないだけに深刻かもしれない■幼児であっても、笑顔のように見えて実は嫌がっていることがあるかもしれない■いずれにしても信頼性の再確認が必要である■(さらには本人は冗談のつもりでも周りの社会では決して笑えない、許されない時代になっています)■さて、この1年、世田谷区の職員は新型コロナに振り回され、区長の強い思い込み(オモテ面参照)に振り回され、私も福祉保健委員会の委員としてフル活動でした。

おおば正明の略歴

① 昭和62年組織なし、カネなし政党なしの選挙で最下位当選。以後、議会で不正追及、不正公務員追放の先頭に立つ ② 連続9期議員活動の信任を受ける。政党歴なし(無所属) ③ 議員交通費の実費化、議員定数削減、政調費の領収書ネット公開実施の議会改革を主導 ④ 「福祉の財源は行革から」が政治信条 ⑤ 団体・組合等の支援一切なし個人支援のみ ⑥ コロナ禍、高齢者への感染阻止に福祉保健委員会で激論。保坂区長の「やってる感」優先の「感染対策」を批判 ⑦ 64歳 ⑧ 成蹊大卒 ⑨ 祖師谷、北鳥山を経て粕谷在住。